

のらえもん

『人も 自然も みんな友だち』

第7回活動 稲刈り 田んぼ体験 その2

台風15号が迫ってきています。そんな心配の中で汗をいっぱい流しながら稲刈りをしました。およそ40分間で刈り終わりました。

「汗の一滴が、白いお米になるんだね！」

- 1, 日 時：2019年9月8日（日）全日
- 2, 天 気：曇り（台風15号接近中で、とても暑かった）
気温 32, 4℃
コンクリートの畦の上 45, 6℃
- 3, 場 所：宅間農園
茨城県常総市大生郷新田町1558
- 4, 交 通：貸し切りバス（ヨツバ観光）
- 5, 参加者：22家族 総数45人 内訳 大人 26
小学 12
幼児 4
スタッフ3

6. 活動の様子

○ 落ち穂が、少ない？！

とっても蒸し暑い中での稲刈りでした。45人が力を合わせて、わずか40分で刈り上げました！その後、落ち穂を探しましたが、ほとんどありません。始めの頃は、すぐに片手いっぱいになったのです。宅間さんも「みんな、上手になったね」と笑顔でした。

この落ち穂は、12月の注連縄づくりに生かされます。

藁で縛った稲穂の束は、すぐにコンバインで脱穀されました。見る見るうちに藁と粃が分離されていきます。やがて、コンバインからトラックに粃が移されました。この粃は乾燥機にかけて、やがて粃の皮をはぎ精米にかけられるそうです。

○ 生き物がいっぱい！

子どもたちは、網と虫かごを持って田んぼの中をうろうろしています。「いたー！」
「つかまえたー！」「な～に、これ？」と、元気な声が田んぼに響いています。アマガエルを20匹もつかまえて、得意そうな子もいましたね。その子は、帰りに全部田んぼに逃がしていました。すばらしいマナーですね！

アマガエル、トウキョウダルマガエル、カナヘビ、バッタ類、トンボ、チョウチョと、たくさんの生き物に出会えました。

○ 田んぼの働きの学習

田んぼは、主食のお米だけを生産しているのではなく、生き物を育てたり水を貯めることで洪水を防いだり地下水を豊にしていることを学びました。黒い田んぼに、緑の苗が広がりやがて黄金色に染まる風景もいいですね！

昼食後のこのふりかえりの時間は、田んぼの持つ力を知り、なんだか気持ちが広がっていくようで元気が出てきましたね。

7, 親と子のいきいき感想

○ いねかりが きるのが かたかった。

かえるをつかまえるのが たのしかった。

埼玉県新郷小1年

○ いねかりのおこめをきるのが かんたんだった。

かえるをつかまえるのが はじめてかえるをとった。

いねかりで かえるとばったを つかまえた。

舎人第一小1年

○ たのしかったです。

いねかりが たのしかったです。

高野小1年

○ 台風が近づく中、雨にも降られず、無事企画が終了できて良かったです。

思った以上の暑さに、熱中症にならないか正直不安もありましたが、次のお楽しみのために頑張れました。達成感もあって、本当に良かった。

母

○ こんなに（稲を）きることは初めて。ちょっとたいへんですが、たのしかったです。ごはんを食べるまで、こういうふうにするんだ！

子どもを参加させて、良かったです！これからもよろしくお願いします。

たのしかったです！

杉の子幼稚園年長

母

○ いねかりをしてみたら、とってもあつく、たいへんでした。

いねかりし ジュースのんで おなかいたい

鹿浜第一小2年

○ いねかりでは、暑くてねっちゃんしょうになりそうだったけど、楽しかったです。

いねかりだ 熱中しょうには 気をつけて

鹿浜第一小4年

○ 稲をかる時のザクッという感覚が、なんとも気持ち良かったです。

お米のできるまでを肌でかんじて、子どもたちもおいしい新米がさらにおいしく感じてくれるでしょうね。

母

- いねかりして、カエル20匹。カナヘビみれたしニホントカゲもみれて、よかったです。

なつかしや いねかりしたら むしとりだ

北区王子小2年

- 今日は、まじめに宅間さんの説明を聞いていたなつみですが、6束かったら、すぐに虫とりに移行しました。

稲刈り要員になるには、まだ数年かかりそうです。

かえるとり とってもとっても まだとるぞ

母

- 田んぼにいろいろな虫がいて、びっくりした。

田んぼには 虫がたくさんびっくりだ

高野小5年

- 今回は稲刈りだけの参加だったので、次回、タイミングが合えば、「是非、田植えから参加し、収穫した新米をたべたいなあ」と思いました。

母

- 今日は、虫やかえるをとって、たのしかったです。

鹿浜五色桜小2年 しゅう げつき

- 今日は、神社でおまいりをして、成績がよくなるかな？ならないかな？

メダカをいっぱいとれてよかったです。

水路の中は メダカが大量 楽しいな

栗原北小5年

- 今年の稲刈りはとても暑かったけど、それもこれも楽しい思い出。キリン一番搾りが心を和ませてくれました。

のらえもんの元気で、台風もどこえやら

いないときびしい、うるさいにようぼう

- 台風の影響で天候がどうなるかとドキドキハラハラのスタートでしたが、実際は汗が滴り止まらない程の暑さと快晴！

腕にくっきりと残った時計の跡とともに、今日の思い出はずっと残っていくと思います。

自宅に帰り、宅間さんの新米を頂くことも楽しみです。

汗をかき 感謝深まる 麦と米

鹿浜子ども園

- 自分たちが手でうえた稲を自分たちで収穫することができて、よかったです。

また、久しぶりに見た田園風景にいやされました。

いねかりを あつさにまけず がんばった

鹿浜こども園

- 田んぼでかえると触れあえたことが、とても幸せでした！

台風が心配でしたが、無事晴れてよかったです。日差しは「暑い！」1日でしたが、その分飲み物が最高に美味かったです。

刈り結ぶ 黄金の実りと 汗ひとつ

鹿浜こども園

- 台風がとても心配でしたが、無事、刈れて、安心しました。
暑さとの闘いでしたが、みんなで協力し、全部刈れたこと、良かったです。
今年の新米も楽しみです。

鹿浜こども園

- お米を買い、食べる。日常の一部ですが、なんと大変な作業の上に成立しているのだろうと、農家の方々へのご苦勞を、汗と共に感じました。
普段忘れている感謝の気持ちがわいてきました。

元宿保育園

- 体調管理の大切さを実感しました。
同じ苗で育てた（園の）稲は、8月中旬にやっと花が咲いて、少しだけ頭が下がってきました。
農家の方が育てている稲との違いに驚き。プロのすばらしさを感じました。
かまをもち ちからをいれて 刈る稲穂

本木東保育園

- 母と共に楽しませて頂き、ありがとうございました。
母は、稲刈りを「60年ぶり」と、感激していました。
母と共に 稲刈り出来る うれしさよ

第三上沼田保育園

- 今年の暑さはかなりこたえましたが、稲刈りしながら、「この後にぎりめしを食べた昔の人は本当においしく食べたのだろうな」と、汗をかいて働く良さを実感しました。
この体験、保育園の子どもたちにも、ぜひさせたいと思いました。
はたらいて あせみずながす たいせつさ

第三上沼田保育園

- いつも子ども（未来）と参加していましたが、1人での参加はのびのびと楽しい時間を過ごすことができました。
稲刈りも大変でしたが、充実していて楽しいひとときでした。
刈った穂に 汗のしずくが 輝いた

舎人保育園

- 田植え～稲刈り、自然の恵みに自分に関われること、またこの直接体験が、自分にとっては大きな大きな学びであると同時に、同じ目的をもってつながる方々との出会いに、喜びを感じるのらえもん活動です。
体験が 自分づくりの 原点だ
手間かけて 人とつながる 米づくり
ザクッ音に バッタおどろく いねかりや

区就学前教育推進課

- 台風にせかされながら稲を刈る一滴は一粒と思いつつ
- 網を持ち生き物探す子どもたちわいて出てくる田んぼの力 のらえもん